



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 5953 URL https://www.showa.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野宏昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 尾島孝則 (TEL) 092-933-6390  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,071	4.5	1,334	10.6	1,571	17.1	1,097	4.8
2025年3月期	14,420	6.7	1,205	82.1	1,342	61.3	1,047	△0.1

(注) 包括利益 2026年3月期 2,982百万円(359.9%) 2025年3月期 648百万円(△79.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1,332.89	—	10.2	7.5	8.9
2025年3月期	1,271.39	—	11.6	6.8	8.4

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	22,383	12,195	54.5	14,806.46
2025年3月期	19,421	9,311	47.9	11,303.45

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,195百万円 2025年3月期 9,311百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	260	△701	△247	2,695
2025年3月期	889	△489	△260	3,383

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00	98	9.4	1.1
2026年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00	123	11.3	1.1
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	150.00	150.00		12.7	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	2.8	1,200	△10.1	1,420	△9.6	970	△11.6	1,177.64

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	897,000株	2025年3月期	897,000株
2026年3月期	73,372株	2025年3月期	73,192株
2026年3月期	823,678株	2025年3月期	823,875株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,824	4.6	1,306	10.9	1,538	17.3	1,075	4.8
2025年3月期	14,168	6.7	1,178	86.0	1,311	63.8	1,026	△0.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	1,306.26	—
2025年3月期	1,245.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	21,602	11,388	52.7	13,827.14
2025年3月期	18,835	8,695	46.2	10,554.82

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,388百万円 2025年3月期 8,695百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資等を背景に緩やかな回復の動きがみられました。一方で、工事の担い手不足による工事遅延、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、米国の通商政策や欧州・中東における地政学的リスクなど、楽観視できない状況が続いております。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」を掲げ、2025年度に連結売上高145億円以上、連結売上高営業利益率5.3%以上を実現するため、

- ・事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)
- ・組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)
- ・ライフサイクル型事業の推進
- ・サステナブル新商品の創出

の重点課題に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は150億7千1百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は13億3千4百万円(前年同期比10.6%増)、経常利益は15億7千1百万円(前年同期比17.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億9千7百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器のエアハンドリングユニットが旺盛な建設需要を背景に大幅に伸長し、前年同期比で増収となりました。

その結果、当事業の売上高は81億4千6百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は7億3千4百万円(前年同期比20.7%増)となりました。

#### ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品が前期からの繰越工事が多かったことに加えて、特殊鋳造品についても新規の大口案件を受注したことにより好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

その結果、当事業の売上高は23億9千9百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は1億2千7百万円(前年同期比232.6%増)となりました。

#### ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、前期において大口の空調設備・給排水衛生設備工事案件があったことによる反動減により、前年同期比で減収となりました。

その結果、当事業の売上高は45億2千5百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は4億7千1百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産・負債・純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億6千1百万円増加し、223億8千3百万円となりました。主な要因は、電子記録債権が7億9千9百万円、投資有価証券が25億2千3百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7千8百万円増加し、101億8千8百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が8億1千3百万円増加した一方、電子記録債務が7億3千3百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ28億8千3百万円増加し、121億9千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が9億9千9百万円、その他有価証券評価差額金が17億1千6百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動の結果獲得した資金は2億6千万円(前年同期は8億8千9百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益15億7千1百万円による増加と売上債権の増加額7億5千8百万円、仕入債務の減少額7億6千8百万円による減少であります。

投資活動の結果支出した資金は7億1百万円(前年同期は4億8千9百万円の支出)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出6億9千万円による減少であります。

財務活動の結果支出した資金は2億4千7百万円(前年同期は2億6千万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億円、配当金の支払額9千8百万円による減少であります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より6億8千7百万円減少し、26億9千5百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率	34.0	36.0	44.0	47.9	54.5
時価ベースの自己資本比率	10.3	10.0	10.7	16.6	23.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	26.5	—	4.2	3.7	12.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	4.0	—	25.4	24.2	5.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善等景気回復への期待が高まる一方、米国の通商政策や欧州・中東の地政学リスクへの懸念、物価上昇による消費マインドの下振れ等、引き続き先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような情勢の中で当社グループは、2026年度から2028年度までの3ヶ年における新中期経営計画「責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献」を策定しました。「リバイバルSHOWA」「サバイバルSHOWA」を経た当社グループが、熟技術をベースとしたモノづくり・コトづくりを探索し続けることによって持続的な成長を遂げ、当社グループのミッションである「情熱技術で、ミライをカタチに。」を果たすべく、環境・社会をより豊かで健全に再生する一助となるよう努めてまいります。具体的には、目指すゴールに「サステナブルSHOWA」を掲げ、5つの重点課題「データドリブン経営の推進」「DX(組織風土改革)とFA(働き方改革)の加速」「志ある自律人財の育成」「ライフサイクル型事業の加速」「サステナブル製品・事業の探索」に取り組んでまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高155億円、営業利益12億円、経常利益14億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益9億7千万円を見込んでおります。

なお、新中期経営計画の詳細は、「新中期経営計画の策定に関するお知らせ」にて、本日開示しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383	2,695
受取手形	178	31
電子記録債権	1,646	2,445
売掛金	2,465	2,601
契約資産	118	89
商品及び製品	298	339
仕掛品	1,223	1,156
原材料	655	625
その他	28	34
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	9,995	10,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	940	944
機械装置及び運搬具（純額）	943	1,181
土地	1,584	1,584
建設仮勘定	36	32
リース資産（純額）	214	206
その他（純額）	57	40
有形固定資産合計	3,777	3,989
無形固定資産		
無形固定資産	88	117
投資その他の資産		
投資有価証券	5,215	7,739
退職給付に係る資産	286	467
その他	72	66
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	5,560	8,260
固定資産合計	9,426	12,367
資産合計	19,421	22,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	887	853
電子記録債務	1,556	822
短期借入金	3,250	3,075
未払費用	688	889
未払法人税等	170	369
設備関係支払手形	270	146
契約負債	27	4
リース債務	45	49
その他	656	663
流動負債合計	7,553	6,872
固定負債		
長期借入金	25	100
退職給付に係る負債	1,181	1,086
繰延税金負債	925	1,739
リース債務	110	76
長期預り保証金	313	313
固定負債合計	2,556	3,316
負債合計	10,109	10,188
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	3,568	4,567
自己株式	△131	△132
株主資本合計	6,304	7,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,755	4,472
退職給付に係る調整累計額	251	419
その他の包括利益累計額合計	3,007	4,892
純資産合計	9,311	12,195
負債純資産合計	19,421	22,383

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	14,420	15,071
売上原価	10,383	10,712
売上総利益	4,036	4,358
販売費及び一般管理費	2,830	3,024
営業利益	1,205	1,334
営業外収益		
受取利息及び配当金	174	253
為替差益	—	14
その他	20	28
営業外収益合計	194	296
営業外費用		
支払利息	39	50
為替差損	1	—
その他	17	8
営業外費用合計	58	58
経常利益	1,342	1,571
税金等調整前当期純利益	1,342	1,571
法人税、住民税及び事業税	290	545
法人税等調整額	3	△72
法人税等合計	294	473
当期純利益	1,047	1,097
親会社株主に帰属する当期純利益	1,047	1,097

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,047	1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△624	1,716
退職給付に係る調整額	226	167
その他の包括利益合計	△398	1,884
包括利益	648	2,982
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	648	2,982
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,641	1,226	2,636	△130	5,372	3,380	25	3,406	8,779
当期変動額									
剰余金の配当			△115		△115				△115
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,047		1,047				1,047
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						△624	226	△398	△398
当期変動額合計	—	—	932	△0	931	△624	226	△398	532
当期末残高	1,641	1,226	3,568	△131	6,304	2,755	251	3,007	9,311

当連結会計年度(自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,641	1,226	3,568	△131	6,304	2,755	251	3,007	9,311
当期変動額									
剰余金の配当			△98		△98				△98
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,097		1,097				1,097
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						1,716	167	1,884	1,884
当期変動額合計	—	—	999	△0	998	1,716	167	1,884	2,883
当期末残高	1,641	1,226	4,567	△132	7,302	4,472	419	4,892	12,195

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,342	1,571
減価償却費	303	354
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	118	149
受取利息及び受取配当金	△174	△253
支払利息	39	50
売上債権の増減額 (△は増加)	227	△758
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△49	56
仕入債務の増減額 (△は減少)	△439	△768
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54	10
その他の資産・負債の増減額	△192	1
小計	1,120	411
利息及び配当金の受取額	174	253
利息の支払額	△42	△49
法人税等の支払額	△362	△354
営業活動によるキャッシュ・フロー	889	260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△490	△690
その他の支出	△1	△12
その他の収入	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	△701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△100	△100
配当金の支払額	△115	△98
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△44	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260	△247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139	△687
現金及び現金同等物の期首残高	3,243	3,383
現金及び現金同等物の期末残高	3,383	2,695

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「機器装置事業」、「素形材加工事業」及び「サービスエンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「機器装置事業」は、空調機器、熱源機器、環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等の製造販売をしております。「素形材加工事業」は、景観製品、各種鋳造品等の製造販売をしております。「サービスエンジニアリング事業」は、空調設備、給排水衛生設備工事等の請負工事のほか、メンテナンス、取替工事をしております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、予め定めた合理的な価額に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
(財又はサービスの種類別)				
熱源・空調・環境製品	6,585	—	—	6,585
サーモデバイス製品	933	—	—	933
素形材加工製品	—	2,271	—	2,271
サービスエンジニアリング	—	—	4,630	4,630
計	7,519	2,271	4,630	14,420
(国又は地域別)				
日本	6,908	2,271	4,622	13,802
アジア(中国・台湾・韓国)	610	—	—	610
その他	—	—	7	7
計	7,519	2,271	4,630	14,420
外部顧客への売上高	7,519	2,271	4,630	14,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	23	—	65
計	7,560	2,294	4,630	14,485
セグメント利益	608	38	558	1,205
セグメント資産	6,233	3,669	1,003	10,907
その他の項目				
減価償却費	205	80	17	303
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	352	170	44	567

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
(財又はサービスの種類別)				
熱源・空調・環境製品	6,993	—	—	6,993
サーモデバイス製品	1,152	—	—	1,152
素形材加工製品	—	2,399	—	2,399
サービスエンジニアリング	—	—	4,525	4,525
計	8,146	2,399	4,525	15,071
(国又は地域別)				
日本	7,388	2,399	4,524	14,312
アジア(中国・台湾・韓国)	757	—	—	757
その他	—	—	0	0
計	8,146	2,399	4,525	15,071
外部顧客への売上高	8,146	2,399	4,525	15,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	20	—	57
計	8,183	2,420	4,525	15,128
セグメント利益	734	127	471	1,334
セグメント資産	7,029	3,871	1,184	12,084
その他の項目				
減価償却費	230	100	23	354
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	322	272	10	606

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	14,485	15,128
セグメント間取引消去	△65	△57
連結財務諸表の売上高	14,420	15,071

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,205	1,334
その他の利益	—	—
連結財務諸表の営業利益	1,205	1,334

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,907	12,084
全社資産(注)	8,514	10,298
その他の調整額	—	—
連結財務諸表の資産合計	19,421	22,383

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資金等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	303	354	—	—	303	354
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	567	606	—	—	567	606

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	11,303.45円	14,806.46円
1株当たり当期純利益	1,271.39円	1,332.89円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,047	1,097
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,047	1,097
普通株式の期中平均株式数 (株)	823,875	823,678

(重要な後発事象)

該当事項はありません。